

郷土おおしま発表大会

12月13日(火)、「郷土おおしま発表大会」を開催しました。

「郷土おおしま発表大会」は、大島中学校、周防大島中学校、周防大島高校の連携3校の代表生徒たちが、「総合的な学習（探究）」の時間」等で取り組んだ学習・研究の成果を発表するものです。昨年度に引き続き、今年度もオンラインでの開催となり、各校の全生徒が発表を視聴しました。

・大島中学校

「皆が幸せになれる我が島の

未来ビジョンを共に創ろう」

・周防大島中学校

「ふるさと学習 地域調べ」

・周防大島高校

「みんなで繋ぐ未来の環」

(普通科普通コース)

「二ホンアワサン」の

生態について(part2)

(普通科環境コース)

中高生ならではの視点で、周防大島の自然や文化、産業、暮らしなどさまざまな分野に目を向けて、周防大島の抱える課題や、その解決に向けての提言など実りある発表内容でした。



例えば、周防大島高校普通コースの発表では、人口減少などが進む周防大島での新たな振興策として周防大島の魅力的な自然環境を楽しめるエコキャンプを企画。地域社会や地元企業との協力も盛り込まれており、地域が一体となった持続可能なビジネスモデルを提案しました。また、この提案は今年度の内閣府主催「地方創生☆政策アイデアコンテスト2022」において上位に入賞しました。

こうした取組を通して、生徒たちが幅広い視野を持ち、郷土に対する愛着を深めてもらえればと思います。



お元気ですか？こちらは保健師です

赤ちゃんの肌を守ってあげましょう

空気の乾燥が気になるこの季節。お肌にトラブルを抱える方もいるのではないのでしょうか。赤ちゃんにとっても例外ではなく、「なかなか湿疹がなおらない」「口まわりのかぶれがひどい」など、お子さんの肌について悩むお母さんも少なくありません。

ぷるぷるとした赤ちゃんの肌は、一見水分をたっぷりと含んだみずみずしい肌と思われがちです。しかし、刺激から肌を守る表皮の厚さは大人の約半分しかないため、大人よりバリア機能が低く、外部刺激に敏感です。

さらに、湿疹などでバリア機能が低下した皮膚の状態であると、そこからアレルゲンはもとより細菌やウイルスが侵入し、かゆみや皮膚炎、アレルギーなどを引き起こします。これを防ぐためには、適切なスキンケアを行うことがなによりも有効です。

スキンケアの基本は「清潔」と「保湿」です。皮膚についた汚れを石けんできれいに落とし、保湿

剤を塗って保湿をし、乾燥を防ぐことが大切です。また、スキンケアはアトピー性皮膚炎の治療としても有効とされています。乳幼児健康診査身体診察マニュアルによると、新生児期から保湿剤を塗布していた乳児は、保湿をしていない乳児に比べてアトピー性皮膚炎を発症するリスクが低いということもわかってきています。適切なスキンケアを行い、赤ちゃんの肌を守ってあげましょう。

子育て世代包括支援センターOhanaでは、妊娠・出産・子育てに関する相談をお受けしています。赤ちゃんのスキンケアについてやその他のことでも、気になることがあれば、いつでもお気軽にご相談ください。

周防大島町保健師 石原憲子

■問い合わせ

子育て世代包括支援センターOhana

☎ 0820 (73) 5511